

電波伝搬調査結果

北陸総合通信局 DCR 活用公開通信試験：電波伝搬調査結果概要

H21年11月22日～23日に実施した北陸総合通信局 DCR 活用公開通信試験：前に実施した、電波伝搬調査結果は以下のとおりです。

1. 調査結果 1

内灘町白帆台一金沢先端大間（距離：26.5km）の測定値は

(1) 上り回線（白帆台受信）時 4.8 d B μ V

(2) 下り回線（先端大受信）時 5.3 d B μ V

<考察>

平均 5.05 d B μ V の値は秦近似式の郊外地伝播に近く、開放地伝播より悪いのは、白帆台公民館から約500m先に木造住宅があり、少し遮蔽されていると考えられる。

2. 調査結果 2

内灘町白帆台公民館を中心とした地区内屋外測定の結果は

（上り（公民館側受信）／下り（移動携帯側受信） d B μ V）

①南へ500m : 26.8/36.5

②北東へ800m : 20.3/28.8

③北東へ2.1km : 13.5/8.7

④北北東へ2km : 1.1/9.7

⑤北へ700m : 8.3/10.5

⑥南西へ1km : 46.9/48.6

⑦南西へ1.9km : 18.7/28.1

⑧南南西へ2.1km : 25.6/32.1

<考察>

③④⑤は公民館遮蔽方向で公民館の影響が考えられる。

3. 調査結果 3

内灘町白帆台職員住宅（白帆台公民館から東北東に350m離の木造住宅）

（上り／下りの平均値 d B μ V）

①室内リビング南 : 29.4

②室内リビング中央 : 35.1

③室内廊下奥 : 31.5

④室内風呂場前 : 16.7

⑤屋外玄関先 : 31.4

⑥屋外公道玄関先 : 25.1

⑦屋外勝手口 : 28.7

⑧屋外北東角 : 25.6

⑨屋外北西角 : 43.9

⑩屋外庭南西角 : 27.3

⑪隣宅公道北西 : 45.4

⑫隣宅公道北東 : 53.9

<考察>

屋外と言え、隣宅の影響が大きく、被測定住宅が木造に近く、屋外／屋内の影響が殆ど見られなかった。



